

氏名	坂 井 宣 行
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3145 号
学位授与の日付	平成9年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Increased Serum Levels of the Carrier Molecules of the Carbohydrate Antigen Sialyl Lewis X in Liver Diseases (肝疾患における糖鎖抗原シアリルLewis X キャリア分子の血清レベルの上昇)
論文審査委員	教授 榎野 博史・教授 原田 実根 教授 中山 睿一

学位論文内容の要旨

肝疾患では糖鎖抗原シアリルLewis X (SLEX) の血清レベルが有意に上昇しているしかしながら、血清SLEXレベルの上昇がキャリア分子の増加なのか、あるいはキャリア分子あたりのSLEX量の増加なのかは明らかではない。そこでHepG2細胞の培養上清由来のSLEX陽性分画に対する兔ポリクロナール抗体を作製し、SLEXキャリア分子の血清レベルを定量する酵素免疫測定法(ELISA)を開発した。SLEXキャリア分子の血清レベルは肝細胞癌患者では健常者より明らかに高値で($P < 0.001$)、さらに良性慢性肝疾患患者(慢性活動性肝炎軽症型、重症型、肝硬変)に比しても有意に高かった($P < 0.05$)。また慢性非活動性肝炎と慢性活動性肝炎軽症型のSLEX血清レベルは健常者より高かった($P < 0.05$)。良性肝疾患の間では差がなかった。これらの結果から肝疾患患者ではSLEXキャリア分子の血清レベルが非特異的に上昇していると結論した。なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

本研究はHepG2細胞の培養上清由来のSLEX陽性分画に対する兔ポリクロナール抗体を作製し、SLEXキャリア分子の血清レベルを定量する酵素免疫測定法(ELISA)を開発した。SLEXキャリア分子の血清レベルは肝細胞癌患者では健常者より明らかに高値で($P < 0.001$)、さらに良性慢性肝疾患患者(慢性活動性肝炎軽症型、重症型、肝硬変)に比しても有意に高かった($P < 0.05$)。また慢性非活動性肝炎軽症型のSLEX血清レベルは健常者より高かった($P < 0.05$)。これらの結果から肝疾患患者ではSLEXキャリア分子の血清レベルが非特異的に上昇していると結論した。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。